

# KSKR パンジー だより

No.42

発行 2001年2月

## 「パンジーを変える！」



いくた おもて なかやま にん  
生田さんと表さんと中山さんとぼくの4人で、パンジーをこれからどう  
したいんかについて、話しをしています。

1回目は、スウェーデンのグルンデン協会の話をした。スウェーデンはすごいなと思った。  
自分で何でもしてる。生田さんがパンジーⅡの3階でピープルファーストの事務所をしたいと  
言った。ぼくはその事務所のカギはメンバーが持つと思っている。個人個人でカギをもって  
やったらおもしろいな。

2001年はメンバーと職員で話しをして、いろんなことを決めたい。今度、パン屋とクリエイ  
ティブと、パンジーⅡの弁当、グループホーム、わくわくのリーダーを決める。職員のリーダ  
ーと同じ数にして、そこで話しあってどうするか決める。いちばん大切なことは「職員だけで  
決めるな！」と「当事者どうしもっと助け合おう」ということ。勝手に決めたら、わからんから。

1回目の会議のあとに、どらえもん会(パンジーⅡはわくわく会)で、この4人でパンジーの  
ことを話してもいいかと聞いた。みんなは拍手をしてから「いいよ」と言ってくれた。

2回目は、これから何をしようかと話しをした。どんな会議か名前をまだ決めてないから決  
める。当事者のリーダーを決める。

ピープルファースト、なかま会、交渉、ピア・カウンセリング、どらえもん会、わくわく会、自立  
生活友の会、びまわり会、ほとんどぼくは入っている。これを他の当事者にわけたらいいな  
と思っている。ぼくばかりやってたらアカンから。

パンジーのリーダーをみんなでするのは、まだまだ時間がかかるけど、やっていこうと思う。  
グルンデン協会のハンスとアンナの話をしたとき、職員を首にしたり、他の職員を入れ  
たりしてると聞いた。職員の給料も払っている。お金がむずかしかったら、だれかにやっても  
らっている。すごいなと思った。まだまだ先だけど、ぼくもいつかやりたいなと思う。

うめはらよしのり  
梅原義教 (パンジー・どらえもん会代表)

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円



## 小学生やったら怒るけど

パンやの感動話を今回はさせていただきます

す。パンやが幼稚園の給食をしていることは皆様ご存じだと思います。その日は車いすに乗っているUさんと他4名で配達に行っていました。パンを届け終わりさて帰ろうとする

と、園児がたくさん集まってきました。きっと車いすに乗っている障害者を見たのが初めてだったのでしょう。そして子ども特有の悪気のない様子で、梅原さんに「この人、変わってる」といい、「指も曲がって変や」とUさんの指をつかみ、引っ張りました。Uさんを含めた5人でその園児たちに障害の説明や、「君らと同じなんやで」など説明しましたが、少し難しかったようでした。帰りの車中、「もしも、もう配達に行くのがいやだったらやめてもいいよ」と私が言うと、彼は「奴らが小学生やったら怒るけど、まだあんなに小さかったら理解なんてできなくていい。でも毎週幼稚園に行って、こんな人も居るねんど、自分を見てもらって教えてやる」とえらく力強い発言。Uさんの成長に感動しました。

幼稚園児が悪い訳では決してありません。ただ障害者を知らないだけなのです。今後も彼らともっと関わりを持ち、仲良くなりたいと思います。(ゆきめ)



## 実は好奇心いっぱい



今まで、ハンガーの検品や箱詰め作業は、ほとんど職員だけでしていたのですが、去年の12月頃から、なかなか自分の気持ちを言葉にしにくかった、内気なYさんが、自分から「それ、するわ」と言って検品作業や、箱に詰める為に、ハンガーを並べてくれています。また、さをり織りでも、今新しく取り組んでいるベルト織りもきれいに編んでいて、色んなことにやる気満々なYさんです。

4月から、パンジーに来ているTさんは、最初、ハンガーの作業を楽しそうにされ

ていたのですが、12月に入ると、それだけではもの足りなさを感じてきたようです。実は好奇心いっぱい、いろんなことに興味がある人なんだということを感じさせられます。今は、ハンガーの仕事だけにとどまらず「さをり織りはどんなかな?」「パン屋さんは今なにしているかな?」とのぞいたりして楽しんでいる毎日です。



作業室をぬけて、パン屋さんにいたTさんに「クリエイティブに戻ろうか」というと「嫌!」と言って、私の体を押して拒否されてしまいました。なんだか嫌と言われてとまどってしまったのですが、それと同時にもっとやりたいことをみつけて自分の思いを外にだしてぶつけていって欲しい、これからもっと色んなことに、チャレンジして世界をどんどん広げていって欲しいとも思っています。そしてそれはTさんだけでなく、ほかのメンバーにもいえることです。

さて、クリエイティブからのお知らせというか宣伝になるのですが、去年の11月からチョコレートの販売を始めました。皆様のご協力もあり、売上げも好調です。引き続き2月まで販売しています。バレンタインのプレゼントにパンジーのチョコレートをどうぞよろしくお祈りします!! (みか)



## 「まいど、おおきに」

新世紀の夢と希望を胸に抱いて、パンジーマンバーそれぞれが、初春を迎えたと思います。さて、パンジーIIの配食サービスを始めて今年5月で満1歳になります。生田さんの「まいど、おおきに」「パンジーIIの弁当は旨いで。いらっしゃいませ」と、その場にいないお客様に情緒たっぷりに語りかけるかのような言葉に、他メンバーが刺激され、活気にあふれた配食部門でした。

園芸では、寒い日暑い日、積極的に時間になれば西田君、栗岡さんがリーダーとなって、水月君、田中君を誘い、女性メンバーも複数参加して、ある時は賑やかに、ある時は怖いくらい黙々と作業に取り組む姿は頼もしかったです。

また昨年27日の仕事納めの日に1階の大掃除を行いました。喫煙メンバーは灰皿や換気扇拭きを。その他メンバーは電球、冷暖房器具、椅子拭き、作業室の床掃除を念入りにしました。その時、メンバーどうし「ここ、やった?」、踏み台のテーブルを「もっと右やろか」など声をかけあっていました。メンバーは仲間どうし、助け合う心をUPして、本年度もがんばってくれると思います。なぜなら昨年自信を身につけたからです。 (西井)



# これからしたいこと

## グループホーム世話人研修会報告



12月21日に芦原橋の総合福祉センターで、グループホーム世話人研修会が行われました。最終回の今回は「当事者の話を聞こう」ということで、パンジーから小松原剛さん、西尾健一さん、梅原義教さん、肌勢俊一さんの4名が参加しました。生い立ちや、これからグループホームで何をしたいかについて原稿にまとめました。

講演では、小松原さんは学校時代の思い出やパンジーやグループホームに来るまでのいきさつ、絵が好きなのを話しました。西尾さんは7月に自立をして、今のグループホームでの生活や頑張っていること、将来の夢についてなど。梅原さんは、小さい頃の施設の話や、今パンジーでやっている仕事のこと、将来一人暮らしをしたいことや、今劇団で頑張っていること。肌勢さんは、中学校の時のクラブのことや、以前働いていた会社での様子などを話しました。

その後は、福田さんも加わり質問コーナーになりました。どの質問に対しても、誰かが積極的に答えたり、思い出話に発展したりで、1時間半があっという間に終わりました。講演については梅原さん、肌勢さんはなれたものですが、久しぶりの西尾さんは、何回もトイレに行くほどの緊張のなか、最後まで落ち着いて発表し、それが自信につながったようで「またやってみたい」との声がありました。初めての小松原さんは原稿を何度もチェックしながらも、堂々と話していました。

メンバーが自信をつけていくのを間近で見ることができ、やりたいことを実現する支援を一緒にやっていきたいという思いがますますわきました。メンバーは原稿をまとめるときに、今まで聞いたことがなかった話もたくさんあり、辛かった事や悲しかったことも話してくれました。それは4人だけではなく、ほとんどの障害者が強いられてきた現状だということに、何ともいえない思いになりました。

また12月に障大連セミナーが行われました。グループホーム分科会で、各団体のグループホーム運営の話を知ると、厳しい現実を痛感させられます。パンジーでもグループホーム新設に向けて、昨年6月より府営住宅を希望してきましたが、大阪府は31件の希望に対して、6件しか供給できず、民間住宅への家賃補助や施設管理費なども不十分という状況です。「当事者がもっと自信をつけて自分たちで物事を決める、地域で当たり前暮らす為の制度をつくっていく」ための課題は山ほどありますが、メンバー曰く「ぼちぼちいこか」で共に歩んでいきたいと思えます。(のむら)



## ちよつと小さな悩み

去年末、枚方から男性3人がグループホームの見学に来られた。説明していて、改めてたくさんの方の力で成り立っていることに気づく。毎日の厨房からの夕食、週2回のヘルパーさんの掃除や洗濯、など。下手な説明を聞いてなるほどどうなづき、それらがグループホームでの介護者の仕事を長続きできる要因のひとつだろうと言われて私もそう思う。パンジーに感謝。

さて、夕食は作ってもらっていても朝食は自分たちで作る。ある日、Hさんの希望で卵焼きを作った。さあ、いただきます。しかしHさんが「いらん」横からYさんが「たべたらいいねん」と一緒に勧めてくれたが、結局ご飯1杯でごちそうさま。すぐにYさんが残った卵焼きを流しに捨てる。あーもったいない。Hさんの為に好きで食べる品を出すべき？ 無駄になってもいつか食べてくれる日を待つべき？

今、ちよつと小さな悩みである。

(橋本)



松もとれ、正月気分もそろそろ抜けようとする1月半ば、休みを終えいつものように元気な顔顔が揃いました。その1人ひとりの顔を眺めて今、愕然としています。

昨春仲間入りした何人かも含め一回り顔が大きくなっているのです。肥満防止は、最初から「野菜中心とした昼食作り」として、心にとめていたものの、食べ方(偏食、調味料やマヨネーズ・ソースの取りすぎ・早食い)、量、など、個人差があるとはいえ、肥満しやすい人に共通した食べ方があるのです。昼ごはんだけが肥満の原因ではないと思うものの、発育期を過ぎた人の運動量に応じた食生活を今一度、真剣に考えなければと、思っています。

(河野)

(広告)

**カルゲン 叩き売り!!一箱(24ヶ) 1500円**

\*賞味期限3月13日までにつき、お早めにお求め下さい。

注文は TEL(0729)63-8837 FAX(0729)63-8825 まで

パンジーのページ



# 2001年、

ありきたりですが、パンジーのみんなに  
ここの抱負をききました。それと、新年のあいさつも。



## <抱負編>

★**梅原** ぼくは、ほかのメンバーともっと、働いていきたいと思う。  
100人とか もっといっしょに はたらいていきたい。



★**田辺** とまりをしてみたい。



★**青山** ずーっと みんなでパンやってあと、一週間  
に一回か二回 とまりたいと思います。

★**富田** 溝端君といっしょに あらいもの したい。

★**平川** カラオケしたい。ものマネしたい。  
自転車のって 配達いってます。続けて  
いきたいです。



★**溝端** 食器をあらったりしてます。あらいものをしたりしてます。  
洗ざいつけて。パンの生地をはかったり 卵をぬったり かまで  
やいたり しています。今年もしたい。



★**河野伸** 青山さんと 湯浅さんと富  
田さんと溝端くと梅原くと平川くと田辺くと  
いっしょにはたらきたい。



# 抱負をききました



！ 中山 今年こそ しゅうしょくするぞ！

！ 東 就職したいというのは 嘘じゃないぞ。今のところ、しんどいから 見合わせてるだけ。

！ 生田 ピアカン そとで やりたい。場所かりてやりたい。

！ 小松原 はやくお酒をのみたい。1月22日に のめるのが うれしいです。いっぱいのもぞ。1月22日になったら、かんぱいしてね。

！ 水月 温泉に いきたい。

！ 西田 温泉 いきたい。うた うたいたい。

！ 表 ことしは 仕事をがんばりたいです。



## <新年あいさつ編>



福田 あけましておめでとうございます。  
今年も どうぞ よろしくおねがいます。



五十嵐 あけましておめでとうございます。  
ことしも はがきを だしてくださいね。よろしくおねがいます。

## ピープルファースト大会 in 東京報告

デートゲームとダンスパーティにわかれた。年の所に「人の年尋ねるにはまず自分の年齢から名のるのが礼儀」って言いました。係りの人が「ここ年書く所なんですけど」って言いました。

中山さんが舞台に立って発表しました。栗岡さんが大切な友達だと思いました。

私(俺)も友達と思ってほしかったです。

(東)

いよいよ新しい世紀が始まりました。昨年は、介護保険制度のスタートや社会福祉基礎構造改革など、福祉施策の枠組みが大きく変わりました。パンジーにおいても、クリエイティブハウス「パンジーⅡ」や自立生活支援センター「わくわく」の運営開始という新しい一歩を踏み出しました。

また、パンジーの7年間の活動を総括した「知的障害者の自立と支援のあり方」のシンポジウムは、当事者からの「職員だけでかってに決めるな！」という発言や、徳島大学の河東田さんから「パンジーの活動はピープルファーストにかなった取り組みになっているのか。パンジーのめざしてきたものが職員間で共有化されているのか」といった提起を受けました。そのことばを受け止めながら、その後もスウェーデンの当事者の話を聞いたり、河東田さんを交えて泊まり込みで総括会議を持ち、パンジーのこれから進む道を模索してきました。この会議では、圧倒的多数が入所施設にいる知的障害を持つ人たちの現状をふまえ、施設が持っている問題点を共通認識したうえで、知的障害者の当事者性をどうしたら確立していけるのかについて話し合いました。

こうした、さまざまな指摘や情報の渦の中で、私の思考は混乱し続けていましたが、少しずつ捉え直しができるようになりました。

パンジーは、設立当初から、知的障害を持つ人たちが地域であたりまえに生きていくことをめざしてきました。そして、やっと当事者や家族の人たちが希望すれば、重度の人でもグループホームやアパートで自立生活ができるような支援体制がある程度、整いました。土台ができたのです。

年が明け、数人の当事者の人たちと「パンジーを当事者主体に変えていくためにはどうしていったらいいか」の話し合いを始めました。最初の話し合いで決まったのが「職員だけで決めるな!」「当事者同士もっと助け合おう!」の2つです。今、それらを実現するためにはどうしていったらいいか、話し合いをすすめています。時間がかかるかもしれませんが、具体的にはどういう形で実現していくのが、今は見えません。それでも、これからパンジーのめざすことが少しずつ、つかめてきました。

(よしみ)



# ちょっといい話 一緒に座ろう

中新井 滯子



「からだ・いのち」のシリーズで今回は排泄の予定だったが、新年早々おしっこやうんこの話もなんなので、やっぱり新世紀も「ちょっといい話し」でスタートしたい。

昨年末、久しぶりにパンジーの忘年会に参加した時のこと。会場に入ると、A君がすばやく私を見つけて「一緒に座ってな」と頼みに来た。パーティ準備のためにメンバーやスタッフが忙しく立ち動いている中で、私が一番暇そうで頼みやすかったのかもしれないが、彼がこんなに素直に力を貸してほしいと言えるようになったのがうれしかった。

A君と並んで席に着くと「忘年会は初めてやから」という。「初めてでちょっと心配やったから一緒に居て欲しかったんだ」と私。「今年はいっぱい初めてのことがあった」「本当にいっぱいあったよね」「パンジーやろ、グループホームやろ、和歌山やろ、千葉へも新幹線で行ったし」「すごい一年やったね」。

彼にとっては忘れられない年になった。多くの人の支援があって、彼は着実に人間関係や生活範囲を拡げていった一年だった。でもまだまだ、初めてのことには不安や戸惑いが先だつのだ。どうしてよいのか分からないことも、うまくやれないこともある。

そんな時、だからやらない、だから自分はダメだ、そんな自分を認めたくないではなく、分からなければうまくできなければ、周りの人に教えてもらう助けてもらうことが出来るようになった。

これは簡単なようだが、世の中にはこれが出来ずに苦しんでいる人が多く居る。もちろんパンジーにも、パンジーⅡにも。何よりありのままの自分を受け容れることが難しいのだ。また自立を志向する人ほど、依存をマイナスにとらえがちである。

河合隼雄氏の著書（『こころの子育て』）の中から一部を引用したい。

——— 依存のない自立は孤立というべきで、それでは（周囲の人との）関係が切れてしまっている。大事なのは、自立と依存とを全く対立することとして考えないこと、誰かに適度に依存している人こそ自立しているというか、自立は適度な依存によって裏打ちされていると言ったらいいか ———

実際にA君の横に座っていると、彼はこと細かくいろんなことを質問したり、承認を求めたりしてくる。何をどれだけ飲み食いしたらよいか、知らないメンバーの名前やハプニングの説明、プログラムへの参加の仕方など、このようにして彼はパーティを楽しく過ごす方法を覚えて行く。でもライトが消え、ミラーボールがまわるダンスタイムだけは、どうしても参加できずにうつむいていた。

それでいいと思う。忘年会は今年もある。



夜空の星が輝く影で、ワルの笑いがこだまする。星から星へ、泣く人の涙背負って宇宙の始末。銀河エッセイスト肌勢お呼びとあらば、即参上・・・！！

★ 今回のエッセイ者

# ウルツのマーク☆ 肌勢俊一



**や**かん(夜間)……夜間の間に夜おそくまで仕事をしつづけていた。ああ、しんどいつかれた。といった夜の10時すぎまで仕事をしつづけている。体がゆうことをきかない。あと7時間ほどして夜おそくに帰ってきた。

**ゆ**うやみ(夕闇)……ゆうやみの空。空はきれいで遠くの空まで見える。雲がかかっている、上は宇宙の空間よりも、はるかに遠くにいていてよい。空は誰よりも、遠くにいてみえるのである。

**よ**あけ(夜明け)……夜明け。いつのまにか朝はおとずれてくる。さあ朝だ会社へいかなければならない。朝めしをくって、そろそろ仕事にがんばりましょうね。

**ラ**イダー(ライダー)……ライダーになっておもいきり道路を走り続けていた。ものすごいスピードで、うちがわの道をつっぱしる。道のまた道を走り続けてこんどは北陸自動車道を通り続けていた。

**り**し?(石)……いしが道ばたにゴロゴロころげおちている。さて一人の人間が道の真ん中につたっていてはいないか。さて、こんどはその人間がいしころをたくさんひろっているではないか。

**ル**ーレット(ルーレット)……ルーレットで夜にみんなでゲームをし続けている、たくさんの人だからだ。これはだいたい大ぜいの人数でそこで一人にぎやかになって、ゲームをしつづけているたくさん人間があつまっておもしろいと思う。

**れ**いぞうこ(冷蔵庫)……れいぞうこの中は冷たくこおりついて、冷たい寒さは、ほどとおいほど、中はひんやりしていて真白く、前はまるで真白い世界である。

**ロ**ボット(ロボット)……ロボットが人間と同じように道の真ん中を歩いているではないか。動きはおそくても、人よりかはやいのである。

予告・・・次号、パンジー便りで好評(?)連載中、H印エッセイは終了することになります(予定)。もうすこしおつきあいください。



## ピープルファースト大会IN東京報告

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX



昨年11月18～19日、ピープルファースト大会IN東京が千葉県・海外職業訓練協会OVTAにて、全国から約900名の当事者・支援者が参加し開催されました。パンジーからは生田さん、肌勢さんが全国実行委員として大会の運営に関わり、当日は52名のメンバーと職員、介護者が参加しました。全体会では昨年に引き続き「10分スピーチ」が行われ、パンジーからは梅原さん、中山さんの二人がオーディションで選ばれて、自分の夢や生き立ち、自立生活のことについて話しました。梅原さんのスピーチ中に、プロジェクターの電源が切れるハプニングもありましたが、二人とも堂々としたスピーチでした。もう一つのテーマ「厚生省の人とはなしをする」では厚生省の大塚専門官を招いて、地域での自立生活や制度について、活発で力強い意見を出し合いました。2日目は生田さん、肌勢さんがそれぞれ「サングループ・金谷町事件について」、「グループホーム」の分科会リーダーを務め、生田さんはサングループ事件を通して自分たちの人権の大切さを訴え、肌勢さんはグループホームでの日常生活を、写真を交えながら報告しました。最後に来年の開催地、北海道で再会することを約束し二日間の大会の幕を閉じました。

大会後の全国実行委員会の反省会では、大きな大会をやり遂げた達成感と、「もっと自分たちでやれたことがあったのでは」という意見も出されました。当事者主体であることと支援者の役割について、今後も考えていかなければならない課題です。



### わくわくから

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

12月9、10日に「全国地域生活支援ネットワーク・ならフォーラム」に参加しました。厚生省の大塚専門官の基調講演に始まり、シンポジウムでは各地域で生活支援を展開している方たちが、課題や今後の展望について話をされました。社会福祉基礎構造改革に伴い、知的障害をもつ人たちの法制度が、「更正を援助する」から「自立と社会経済活動への参加と促進」へと改正されたとのこと。自分で決めること、施設ではなく地域で暮らすということは、ピープルファースト大会で当事者が訴え続けたことであり、ようやく法律の中に言葉として出てきたことは、本当にうれしく思います。そんな流れで、地域での生活支援システムも徐々に整い始めています。今回のフォーラムでも、「即対応できる便利さ」と「目に見える安心」ということで、電話一本24時間対応でき、多様なニーズに応える支援センターの役割や必要性が報告されていました。わくわくでも、そんな便利で地域に密着したものをめざしたいと思う一方で、業務やサービスを提供する側に、当事者が見えてこないことに「当事者主体」の矛盾も感じました。しかし、わくわくの仕事もパンジーの当事者の間では「何やってるかわからん」「パソコンうってる」とのこと。ショックを受けつつ、これからのわくわくの中身をパンジー同様、当事者が自分たちのものとして、変えていくのを楽しみにしています。

(たき)

# 書き損じハガキ、(未使用)切手を送ってください!

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。



## ご協力ありがとうございます

＜後援会費を振り込んでいただいた方＞ (敬称を略させていただきます)

浦野安晴 北海桂子 濱田尚 大谷強 ティグレ東大阪 梶山太一  
三谷恵子 田中誠 木村多加緒 墳下千里

＜カンパ・寄付をいただいた方＞

谷山洋子 橋本幸子 赤川由里子 久保田卓 和田浩二 塩田隆  
古田美子

＜書き損じハガキ・未使用切手・未使用テレホンカードをお送りいただいた方＞

平石満彦 すなっく四万十・福谷和子 井川友子 松島洋平 田村崇 茂岡  
小松崇 甲田恭子 くらいす編集室 山本雅江 奥村貴夫 芹田希和子



パンフレット・『“自己実現を展く環境”を創る』 定価1000円

パンジーの7年のあゆみや取り組んできたことを、パンフレットにまとめました。『パンジーだより』に連載した「言葉とコミュニケーション」を、「みずな&ガーリックン」として、かわいいイラストと共に新たに掲載しています。今後は、10月21日のシンポジウムをふまえた本を発行する予定です。おたのしみに!

パンフレットをご希望の方は、パンジーまでご連絡下さい。

TEL 0729-63-8818 FAX:0729-63-8825 E-mail pansy@yb3.so-net.ne.jp

「障害者自立相談のるで!」 自立生活支援センターわくわく

自立支援、在宅で行くところを探しているなど、さまざまな相談に応じています。生田進の相談日 毎週水曜日午後 (無料)

TEL 0729-60-3611 FAX 0729-60-3613 E-mail wakuwaku@yb3.so-net.ne.jp



パンジーでは、  
後援会員を募集  
しています

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号	00950-1-300551		
クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市東中浜2-10-13  
緑橋グリーンハイツ1階

一九九六年五月一日

第三種郵便物認可

毎日発行

領価二五〇円